

## 基本施策 F 2 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます

主管課：高齢者すこやか支援課

### 個別施策

- F2-1 地域包括ケアシステムの構築を進めます
- F2-2 高齢者の社会参加を促進します
- F2-3 地域の支援体制を構築します
- F2-4 介護サービスの充実を図ります

### ア 施策の目的

高齢者が生きがいを持ち、地域で支え合い安心して暮らしている。

### イ 基本施策の評価

D c 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服がやや遅れている

### ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
高齢者ふれあい サロン箇所数 ※1	34箇所 (26年度)	↑	目標値	53	60	67	74	81	65
		実績値	48	53	57	61	61	58	
		達成率	90.6%	88.3%	85.1%	82.4%	75.3%	89.2%	
地域包括支援セ ンターの認知度 ※2	—%	↑	目標値	34.0	38.0	80.0	83.2	86.4	86.4%
		実績値	73.6	76.8	80.3	83.2	83.8	83.8	
		達成率	216.5%	202.1%	100.4%	100.0%	97.0%	97.0%	

※1 令和3年度目標値は、長崎市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の目標値と同値とした。

※2 「地域包括支援センターの認知度」の目標値については、平成29年度において、実績値が目標値を大きく上回ったことから上方修正した。実績値の平成28年度から平成29年度までの伸びが3.2%であるため、平成30年度の目標値は、平成29年度の実績値に3.2%を上乘せした80%、それ以降は年毎に3.2%を加えた値とした。

### エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

### オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

### カ 審議会における施策推進に向けた提案

- (1)外出することが出来ず介護認定を受けていない高齢者は、十分な介護サービスを利用できない。高齢者ふれあいサロンや地域包括支援センターを利用するための支援を充実させてほしい。

(2) 高齢者に対して、支援情報の周知活動を行ううえで、「すこやかガイドブック」は効果的であると思う。「すこやかガイドブック」を初めて見る人、高齢者、家族に周知徹底・活用できるよう、ダイジェスト版なども必要であると思う。